

実力相応の主張なくば、国は立ち行くまい

自由に考え、納得する場を一。

オピニオン雑誌「諸君!」は、昭和四十四年、文藝春秋社長・池島信平の願いによって創刊された。その遺志は脈々と受け継がれて今日に至る。

ここに収める九篇は、四十年にわたる思索と討論の到達点であり、去り行く雑誌から未来の日本に宛てたメッセージである



謙虚さは侮蔑を招く。 日本的受動性の払拭が課題だ

石原慎太郎(東京都知事・作家)

太平洋戦争に敗れてからこの方、私はこの国の意思なるものを感じたことがない。支那事変から太平洋戦争にかけては「八紘一宇」とか、ついには「一億玉砕」とか。あれは誰が決めていい出したのかは知らぬが、子供心にもその気になったりそう観念もさせられた。

しかし一夜明けての敗戦の後にさずけられた「一億総懺悔」なるものは、子供心にも一向に解せぬものでしかなかった。

そしてその後平和は続き、経済の高度成長、はてはバブル、そしてその崩壊とさまざまに世は変りまた変って今日にいたるが、その間政治家の掛け声で「所得倍増」「列島改造」「平和国家」「美しい国」とかいろいろありはしたが、聞く者の心に已の属している国全体の意思として響くものなどありはしなかった。

日本という国は所詮「背骨の無い巨人」だと断じたのはノーマン・カズンであったらうか。

日本は依然として世界第二の経済を誇り(?)はするが、それが現世界において日本の国家としての地位を保証しているということとは一向にありはしない。不思議といえば不思議、哀れといえば哀れな話だ。

世界での日本の通り相場は、とにかく物をいわぬ国ということではない。時間的、空間的にますます狭小となりつつある世界の中で、物をいわぬ、つまり意思を表明しない者に存在感がある訳もない。

比べて極めて対照的なのは北朝鮮なる隣国で、この国のいろいろと厄介な存在感は、実はわが国にとっては極めて参考となり多とすべきものともいえそうだ。仮に日本が今保有している力のままに彼等と同じ手立てで周りに向かってごねてみせたとしたら、それで立てられる波風は世界全体を左右しかねぬものとなるに違いない。

それにしてもこの国は一体どうしてかほどに口数少なく、物をいってもつまらぬ、誰も耳をそばだてることの無い国になりおおせてしまったのだろうか。

人間と同様国家も決して己一人で立ち行けるものでありはしない。日本もまた同じことで、そのパートナーとして一途にアメリカを選びきってしまったものだが。

それは近代国家としていわば処女体験としての太平洋戦争における敗戦のおかげで、その勝者としてのアメリカにあの戦争裁判によって日本の近代史そのものを否定しつくされ、それを是として後々まで肯定しつづける操の証しとして、アメリカ製の憲法を受諾し、日本語としても間違いだらけの前文を含めてそれを拝領しつづけている様に表象されている。

他人の作った国家の規範に指一本触れることも禁忌として貫く国家国民の姿勢なるものは、実は日本の風土が培ったこの国この民族の本質的特性としての一途な受動性を証している(中略)。

日本はアメリカの経済奴隷ではない

こうした安易な矛盾の上での一方的な依存に成り立っている国際関係は、結局相手からの気まま収奪を許して自らはばからない。

レーガン政権時代に政府による社会保障を全て投資信託の利益にゆだねることにしたアメリカの財政の片棒を担がされ、株価の維持のために膨大なアメリカ国債を買わされつづけている日本は、その扱いそのものも規制されていて、かつて橋本総理がアメリカの大学での講演で、日本も財政多端なので抱えているアメリカ国債を少し売りたいと発言しただけで株価は暴落し、その種の発言は以来禁忌とされてしまった。

今回のアメリカ発のリセッションの支えに日本はまたぞろ彼等の国債購入を強いられるに違いないが、私は以前アメリカのシンクタンク主催の講演で、日中両国は共同して抱えているアメリカ国債を担保にして基金を募り、国債の利回り以上のプロジェクト、例えばシベリア開発などへの活用も考えたらいいと発言し猛烈な反発を食ったことがある。



上島さん、宜しく頼まれたよ。気を引き締めて頑張って！。



Commented by **花うさぎ** さん
・イベントガイド

2009/05/08 20:14

「教育における体罰を考える」シンポジウム

日時 平成21年6月26日(金) 18時30分(18時00分開場)

場所 [ハリウッド大学院大学](#) ハリウッドホール

東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ 5階 TEL 03-3408-5020

内容

《第一部》対談「教育における体罰について」

[石原慎太郎](#)(東京都知事)

[櫻井よしこ](#)(ジャーナリスト)

《第二部》パネルディスカッション「教育に体罰は必要か？」

小林正(元[参議院](#)議員・教育評論家)

高橋史朗(明星大学教授)

田久保忠衛(外交評論家)

南出喜久治(弁護士)

村松英子(女優)

佐山サトル(初代[タイガーマスク](#)・興義館総監)

鈴木信行(維新政党・新風 [幹事長](#))

光永勇(全国勝手連合会 会長)

入場料 1,000円

主催 教育における体罰条項を考える会 TEL 042-329-3757 MAIL h-fujita@mu.se.ocn.ne.jp



Commented by **すずめだか** さん

2009/05/08 23:39

昨日、私の住む町の初当選 [自民党](#)市会議員(30歳)と初めて面談しました。同行の方がこの諸君最終号を新人議員に「これを読んで勉強してください。」と贈呈しました。諸君の遺産がこの若い議員に引き継がれることを願っています。

嬉しい事にこの議員は先月、[靖国神社](#)に参拝したそうです。



Commented by **花うさぎ** さん

2009/05/09 00:44

To すずめだかさん こんにちは。

> 同行の方がこの諸君最終号を新人議員に「これを読んで勉強してください。」と贈呈しました。

へえ～、洒落たプレゼントですね。

> 諸君の遺産がこの若い議員に引き継がれることを願っています。

今の若い世代は吸収が早いから大丈夫でしょう。

> 嬉しい事にこの議員は先月、[靖国神社](#)に参拝したそうです。

おお～、そうこなくちゃあ(^ ^)。上京するたびに参拝せよ、と云って下さい。



Commented by **sumirehodo** さん

2009/05/09 08:22

日本が大東亜戦争で人種差別撤廃を掲げ有色人種を代表して白人達と戦い、その結果戦後多くの国が独立したということになると日本が世界で格好良すぎ白人の立場(義)がなくなる。それで何としても日本が悪かったことにしなければならないと思っている。また特亜も当時の自国が間抜けだったことを隠すためにも日本を悪者にしたがっている。

このように「世界は日本が悪いということにしておけばうまくいく。」のである。そんな腹黒い世界で日本が生きていくためにも石原氏の論文は我々の意見を代表する正論であると思う。

Commented by **花うさぎ** さん

2009/05/09 09:17



To sumirehodoさん おはようございます。

>このように「世界は日本が悪いということにしておけばうまくいく。」のである。

そのものズバリです。何故、支那中共の南京、朝鮮の慰安婦などのプロパガンダをいまだに世界が安易に受け入れるのか、これが根源的な背景でしょう。

>そんな腹黒い世界で日本が生きていくためにも石原氏の論文は我々の意見を代表する正論であると思う。

御意！。時々知事を辞めて「総理」になってくれないかと思えますよ。